

中小企業景況調査報告書

平成24年度第1・四半期（4～6月）

浅野公園



Asano Park

一宮市観光協会提供

目次

調査の要領	1
今期の概況	2
景況に対するコメント	3
景況の推移（全業種）前年同期比	4
景況の推移（繊維製造業）前年同期比	4
業種別集計表・新規設備投資集計表（全業種 100社）	5
業種別集計表・新規設備投資集計表（繊維製造業 49社）	6
景況の推移（全業種）業種別集計表 前期比	7
景況の推移（繊維製造業）業種別集計表 前期比	8
「直面している経営上の問題点」の集計表（全業種上位3位）	9
「直面している経営上の問題点」の集計表（各業種）	10～12
前年同期比のグラフ（全業種・各項目）	13～16

The Ichinomiya Chamber of Commerce & Industry

一宮商工会議所 中小企業相談所

調 査 の 要 領

I. 調査対象期間 調査対象期間は、「4～6月」「7～9月」「10～12月」「1～3月」の四半期毎とする。

II. 調査実施時期 調査実施時期は、「4～6月」「7～9月」「1～3月」については目安として各四半期二月目の25日から末月の1日とし、末月の1日時点で調査する。また、「10～12月」については、目安として11月10日から15日とし、15日時点で調査する。

III. 調査の実施 (方 法) 調査は、日本商工会議所の調査様式を用いて調査実施時期に、原則として経営指導員が企業を訪問し、面接・聴き取りにより行う。

IV. 調査対象企業数 100事業所。

V. 調査対象企業 次の表のとおり
の業種

(1) 景況調査対象事業所 (100) の内訳

業 種	事業所数
建設業	7
製造業	61
(繊維製造業)	(48)
(その他製造業)	(13)
卸売業	13
小売業	10
サービス業	9
合 計	100

(2) 繊維製造業対象事業所 (48) の内訳

業 種	事業所数
撚糸業	7
織物製造業	26
染色整理加工業	6
縫製加工業	4
そ の 他	5
合 計	48

VI. 分析 方法 1. D I (Diffusion Index) 分析
「増加」「好転」したとする企業割合から、「減少」「悪化」したとする企業割合を差し引いた値

2. D I 分析は、「前年同期」及び「前期」との比較である。

VII. 分析 項目 1. 前年同期比
(1)業況 (2)売上 (3)採算 (4)資金繰り (5)従業員

2. 前 期 比
(1)業況 (2)売上 (3)資金繰り

VIII. その他の分析 1. 設備投資 実施状況数
2. 経営上の問題点 各項目をポイント加算

1位3ポイント
2位2ポイント
3位1ポイント

今 期 の 概 況

依然として厳しい状況下にあるものの、
景況は、持ち直している。

1. 前年同期比 D I 値の分析

(1) 業況D I 値

- ① 今期(表 1、3 参照)は、▲22.0 で、前回調査値 (H24. 1~3 月期) と比較すると、8.0 ポイント (以下 P と記載) と、マイナス幅は縮小している。来期の見通しは、▲14.0 (今期数値との比較 8.0 P) で、マイナス幅は縮小傾向にある。
- ② 繊維製造業の今期(48 事業所、表 2、5 参照)は、▲31.3 で前回調査値と比較すると、11.6 P と、マイナス幅は縮小しており、来期の見通しは、▲20.8 (今期数値との比較 10.5 P) と、今期と同様にマイナス幅は縮小している。

(2) その他のD I 値

- ① 今期は、売上▲21.0、採算▲28.0、資金繰り▲7.0、従業員▲3.0 で、前回調査値と比較すると、売上 11.0P、採算 1.0P、資金繰り 11.0 P、従業員 12.0 P と、すべての項目でマイナス幅は縮小している。来期の見通しは、売上▲19.0 (今期数値との比較 2.0P)、採算▲17.0 (同 11.0P)、資金繰り▲7.0 (同横ばい)、従業員▲2.0 (同 1.0P) と、ほとんどの項目でマイナス幅は縮小している。
- ② 繊維製造業の今期は、前回調査値と比較すると、売上▲0.7 P、採算▲0.7P、資金繰り 12.1 P、従業員 10.1P と、売上、採算はほぼ横ばいながら、資金繰り、従業員でマイナス幅は縮小している。来期の見通しは、今期数値との比較で、売上 6.3P、採算 16.6P、資金繰り▲4.2 P、従業員横ばいとなっており、ほとんどの項目でマイナス幅は縮小している。

以上のことから、全ての項目で改善傾向にあり、今期の景況は持ち直しており、来期も引き続き持ち直しが期待できる。

2. 前期比 D I 値の分析

- ① 今期(表 7、8 参照)は、業況▲11.0、売上▲6.0、資金繰り▲9.0 で、前回調査値との比較では、業況 23.0P、売上 40.0P、資金繰り 14.0P と、すべての項目でマイナス幅は縮小している。
- ② 繊維製造業(48 事業所、表 9、10 参照)についても、前回調査値との比較で、業況 30.4 P、売上 63.3P、資金繰り 12.1P と、すべての項目でマイナス幅は縮小している。

3. 設備投資の動向

- ① 今期の実績 (表 4、6 参照) は 29 件(20 事業所)。その主な内訳は、『生産設備』8 件、『O A 機器』7 件、『車両・運搬具』4 件となっている。
- ② 来期の計画 (表 4、6 参照) は 28 件(17 事業所)。その主な内訳(予定)は、『生産設備』11 件、『O A 機器』6 件、『工場建物』4 件となっている。

以上のことから、今期の設備投資は、前回調査値(24 件、16 事業所)に比べ件数・事業所とも増加している。

4. 直面している経営上の問題点(表 1 1 参照)

業種別の直面している経営上の問題点は、表 11 のとおり。ほとんどの業種が、経営上の問題点の上位に『需要の停滞』、『製品等単価の低下・上昇難』を挙げている。

業 況 レ ポ ー ト

今期については次のようなコメントをいただきました。

A 社（製造業〈燃糸〉）

東日本大震災の影響を受け、業況悪化し、好転しないままである。ナイロンをはじめとする糸の原料全般の価格が高騰しており、来期以降の業況見通しも不透明である。

B 社（製造業〈燃糸〉）

例年5月から8月までは秋・冬物受注の最盛期であるが、ウール価格の高騰によるウール離れが進行し、昨年より2割弱売上高が減少し、一昨年の水準に下がっている。デフレや中国製品の台頭もあり先行きも不透明。

C 社（製造業〈織物〉）

生産拠点が日本と中国にある婦人服地のメーカー。現状、国内生産に係る秋冬物の生産が大幅にずれこんでおり不安が増大している。ただ、中国生産に係る受注は堅調であるため、全体として黒字化を目指している。

D 社（製造業〈織物〉）

医療用製品は、厳しい状況が続いているが、自動車用製品は安定的に業績を維持している。今後ともオリジナルな製品で、他社との差別化を図りたい。

E 社（製造業〈その他の繊維〉）

新年度に入って急激に受注が減少し、売上も悪化し赤字の状態である。当社が担当している業務を海外で行って流通させているのではないかと懸念している。

F 社（製造業〈自動車部品加工〉）

昨年9月以降、タイ洪水による大幅な減産後、今年3月まで数量は改善した。しかし、4～5月は国内新車販売の伸びが弱いため、1～3月比で数量減。今後の見通しも為替の影響等で輸出環境は好転の兆しがみられない。

G 社（製造業〈金属加工〉）

鉄を扱う業界からあらゆるニーズに対応できるので、仕事量は安定している。

H 社（小売業〈家電品〉）

昨年までは、地デジ化推進やエコポイント等の特需で大いに賑わったが、本年に入り落ち着きを取り戻している。一人で稼働しているため、今まで休みがなかったが、最近ようやく休めるようになりほっとしている。今後は、太陽光発電やリフォームに関する需要を取り込む必要があり、新たな販売手法や商品知識を習得するようになりたい。

I 社（サービス業〈広告〉）

昨年は、東日本大震災の影響により、イベント等の自粛からチラシ折込みも減少したが、夏のボーナスに合わせ、家電、不動産、携帯電話等からのチラシ折込みが見込まれ、売上は微増の見込みである。

景況の推移（全業種100事業所）

表 1

～ 前年同期比～

	H23. 4～6月	H23. 7～9月	H23. 10～12月	H24. 1～3月	今 期 H24. 4～6月	来期の見通し H24. 7～9月
業 況	▲38.0	▲27.0	▲28.0	▲30.0	▲22.0	▲14.0
売 上	▲29.0	▲28.0	▲24.0	▲32.0	▲21.0	▲19.0
採 算	▲43.0	▲36.0	▲27.0	▲29.0	▲28.0	▲17.0
資金繰り	▲17.0	▲27.0	▲19.0	▲18.0	▲7.0	▲7.0
従 業 員	▲5.0	▲9.0	▲7.0	▲15.0	▲3.0	▲2.0

景況の推移（繊維製造業48事業所）

表 2

～ 前年同期比～

	H23. 4～6月	H23. 7～9月	H23. 10～12月	H24. 1～3月	今 期 H24. 4～6月	来期の見通し H24. 7～9月
業 況	▲36.7	▲26.5	▲30.6	▲42.9	▲31.3	▲20.8
売 上	▲18.4	▲14.3	▲18.4	▲30.6	▲31.3	▲25.0
採 算	▲42.9	▲34.7	▲30.6	▲34.7	▲35.4	▲18.8
資金繰り	▲18.4	▲34.7	▲24.5	▲20.4	▲8.3	▲12.5
従 業 員	▲12.2	▲10.2	▲4.1	▲14.3	▲4.2	▲4.2

業種別集計表 (全業種100事業所)

～ 前年同期比 ～

表 3

	事業所数	7	61	13	10	9	100	D I
		建設業	製造業	卸売業	小売業	サービス業	合計	
業況	好転	0 (1)	10 (8)	1 (2)	0 (0)	2 (3)	13 (14)	▲ 22.0 (▲14.0)
	不変	5 (4)	28 (33)	9 (8)	6 (9)	4 (4)	52 (58)	
	悪化	2 (2)	23 (20)	3 (3)	4 (1)	3 (2)	35 (28)	
売上	増加	1 (1)	13 (6)	2 (1)	2 (2)	2 (3)	20 (13)	▲ 21.0 (▲19.0)
	不変	3 (4)	22 (35)	6 (9)	4 (4)	4 (3)	39 (55)	
	減少	3 (2)	26 (20)	5 (3)	4 (4)	3 (3)	41 (32)	
採算	好転	0 (0)	7 (8)	0 (0)	0 (0)	3 (3)	10 (11)	▲ 28.0 (▲17.0)
	不変	4 (5)	28 (33)	10 (11)	6 (8)	4 (4)	52 (61)	
	悪化	3 (2)	26 (20)	3 (2)	4 (2)	2 (2)	38 (28)	
資金繰り	好転	0 (1)	5 (5)	1 (0)	0 (0)	2 (3)	8 (9)	▲ 7.0 (▲7.0)
	不変	4 (4)	49 (46)	12 (13)	7 (8)	5 (4)	77 (75)	
	悪化	3 (2)	7 (10)	0 (0)	3 (2)	2 (2)	15 (16)	
従業員	増加	0 (0)	11 (5)	1 (1)	0 (1)	3 (2)	15 (9)	▲ 3.0 (▲2.0)
	不変	5 (7)	39 (48)	11 (12)	8 (8)	4 (5)	67 (80)	
	減少	2 (0)	11 (8)	1 (0)	2 (1)	2 (2)	18 (11)	

※ 採算は経常利益で判断

※ ()内は来期

新規設備投資集計表 (全業種100事業所)

表 4

設備投資	今期	実施した ※1	20	来期	計画している ※2	17
	(事業所数)	実施していない	80	(事業所数)	計画していない	83

	※1	※2		※1	※2
1. 土地	3 件	0 件	5. 付帯施設	2 件	3 件
2. 工場建物	2 件	4 件	6. O A 機器	7 件	6 件
3. 生産設備	8 件	11 件	7. 福利厚生施設	1 件	1 件
4. 車両・運搬具	4 件	2 件	8. その他	2 件	1 件
複数回答可			合計	29 件	28 件

業種別集計表 (繊維製造業48事業所)

～ 前年同期比 ～

表 5

	事業所数	7	26	6	4	5	48	D I
		燃糸加工	織物製造	染色整理	縫製加工	その他	合計	
業況	好転	2 (2)	2 (2)	0 (0)	1 (1)	1 (2)	6 (7)	▲ 31.3 (▲20.8)
	不変	3 (4)	10 (12)	5 (4)	1 (2)	2 (2)	21 (24)	
	悪化	2 (1)	14 (12)	1 (2)	2 (1)	2 (1)	21 (17)	
売上	増加	2 (2)	4 (0)	1 (0)	0 (1)	1 (2)	8 (5)	▲ 31.3 (▲25.0)
	不変	1 (4)	9 (14)	3 (4)	2 (2)	2 (2)	17 (26)	
	減少	4 (1)	13 (12)	2 (2)	2 (1)	2 (1)	23 (17)	
採算	好転	2 (2)	2 (2)	0 (0)	0 (0)	1 (2)	5 (6)	▲ 35.4 (▲18.8)
	不変	3 (4)	11 (15)	3 (5)	2 (2)	2 (1)	21 (27)	
	悪化	2 (1)	13 (9)	3 (1)	2 (2)	2 (2)	22 (15)	
資金繰り	好転	1 (0)	2 (2)	0 (0)	0 (0)	0 (1)	3 (3)	▲ 8.3 (▲12.5)
	不変	6 (6)	19 (18)	6 (6)	3 (3)	4 (3)	38 (36)	
	悪化	0 (1)	5 (6)	0 (0)	1 (1)	1 (1)	7 (9)	
従業員	増加	3 (1)	3 (2)	0 (0)	1 (0)	0 (1)	7 (4)	▲ 4.2 (▲4.2)
	不変	4 (6)	16 (19)	4 (5)	3 (4)	5 (4)	32 (38)	
	減少	0 (0)	7 (5)	2 (1)	0 (0)	0 (0)	9 (6)	

※ 採算は経常利益で判断

※ ()内は来期

新規設備投資集計表 (繊維製造業48事業所)

表 6

設備投資	今期	実施した ※1	11	来期	計画している ※2	7
	(事業所数)	実施していない	37	(事業所数)	計画していない	41

	※1	※2		※1	※2
1. 土地	1 件	0 件	5. 付帯施設	1 件	1 件
2. 工場建物	1 件	2 件	6. O A 機器	3 件	1 件
3. 生産設備	4 件	5 件	7. 福利厚生施設	0 件	0 件
4. 車両・運搬具	2 件	0 件	8. その他	1 件	0 件
複数回答可			合計	13 件	9 件

景況の推移 (全業種100事業所)

表 7

～ 前期比 ～

	H23.4～6月	H23.7～9月	H23.10～12月	H24.1～3月	今期 H24.4～6月
業況	▲26.0	▲15.0	▲20.0	▲34.0	▲11.0
売上	▲12.0	▲11.0	▲26.0	▲46.0	▲6.0
資金繰り	▲17.0	▲19.0	▲16.0	▲23.0	▲9.0

業種別集計表 (全業種100事業所)

表 8

～ 前期比 ～

	事業所数	7	61	13	10	9	100	D I
		建設業	製造業	卸売業	小売業	サービス業	合計	
業況	好転	0	10	2	0	2	14	▲ 11.0
	不変	3	38	9	6	5	61	
	悪化	4	13	2	4	2	25	
売上	増加	1	18	4	1	4	28	▲ 6.0
	不変	2	24	5	3	4	38	
	減少	4	19	4	6	1	34	
資金繰り	好転	0	3	0	0	2	5	▲ 9.0
	不変	4	51	13	8	5	81	
	悪化	3	7	0	2	2	14	

景況の推移 (繊維製造業48事業所)

表 9

～ 前期比 ～

	H23. 4～6月	H23. 7～9月	H23. 10～12月	H24. 1～3月	今 期 H24. 4～6月
業 況	▲26.5	▲14.3	▲30.6	▲40.8	▲10.4
売 上	4.1	▲14.3	▲38.8	▲63.3	0.0
資金繰り	▲14.3	▲24.5	▲18.4	▲20.4	▲8.3

業種別集計表 (繊維製造業48事業所)

表 10

～ 前期比 ～

	事業所数	7	26	6	4	5	48	D I
		擦糸加工	織物製造	染色整理	縫製加工	その他	合計	
業 況	好 転	2	4	0	0	1	7	▲ 10.4
	不 変	4	14	5	3	3	29	
	悪 化	1	8	1	1	1	12	
売 上	増 加	4	8	2	0	1	15	0.0
	不 変	3	8	2	2	3	18	
	減 少	0	10	2	2	1	15	
資 金 繰 り	好 転	0	2	0	0	0	2	▲ 8.3
	不 変	7	20	6	3	4	40	
	悪 化	0	4	0	1	1	6	

『直面している経営上の問題点』の集計表 表 11

(全業種上位3位)

業 種 順位	内 容		
	1 位	2 位	3 位
建設業	○請負単価の低下・ 上昇難	○官公需要の停滞	○民間需要の停滞
繊維製造業	○需要の停滞	○製品(加工)単価 の低下・上昇難	○製品ニーズの変 化への対応 ○原材料価格の上 昇
製造業 (繊維製造業は除く)	○製品(加工)単価の 低下・上昇難	○需要の停滞	○熟練技術者の確 保難
卸売業	○需要の停滞	○販売単価の低下・ 上昇難	○商品在庫の過剰
小売業	○需要の停滞	○大型店・中型店の 進出による競争の 激化 ○購買力の他地域へ の流出	○販売単価の低下・ 上昇難
サービス業	○利用ニーズの変化 への対応 ○店舗施設の狭隘・ 老朽化	○利用料金の低下・ 上昇難	○人件費以外の経 費の増加 ○需要の停滞

『直面している経営上の問題点』の集計表

建設業

内 容	ポイント
大企業の進出による競争の激化	1
新規参入業者の増加	0
材料価格の上昇	1
材料の入手難	0
人件費の増加	0
材料費・人件費以外の経費の増加	2
請負単価の低下・上昇難	15
下請単価の上昇	0
金利負担の増加	0
取引条件の悪化	0
事業資金の借入難	0
従業員の確保難	0
熟練技術者の確保難	0
下請業者の確保難	0
官公需要の停滞	12
民間需要の停滞	11
その他	0
合 計	42

繊維製造業

内 容	ポイント
大企業の進出による競争の激化	4
新規参入業者の増加	2
製品ニーズの変化への対応	26
生産設備の不足・老朽化	15
生産設備の過剰	0
原材料価格の上昇	26
原材料の不足	3
人件費の増加	8
原材料費・人件費以外の経費の増加	6
製品(加工)単価の低下・上昇難	59
金利負担の増加	3
取引条件の悪化	4
事業資金の借入難	0
従業員の確保難	4
熟練技術者の確保難	10
需要の停滞	79
その他 〔・受注量不安定 ・円高〕	4
合 計	253

※ 1位 … … 3ポイント
 2位 … … 2ポイント
 3位 … … 1ポイント

『直面している経営上の問題点』の集計表

製造業 (繊維製造業は除く)

内 容	ポイント
大企業の進出による競争の激化	2
新規参入業者の増加	0
製品ニーズの変化への対応	6
生産設備の不足・老朽化	5
生産設備の過剰	0
原材料価格の上昇	6
原材料の不足	0
人件費の増加	2
原材料費・人件費以外の経費の増加	6
製品(加工)単価の低下・上昇難	17
金利負担の増加	4
取引条件の悪化	1
事業資金の借入難	0
従業員の確保難	0
熟練技術者の確保難	8
需要の停滞	16
その他 (社員教育)	1
合 計	74

卸売業

内 容	ポイント
大企業の進出による競争の激化	3
メーカーの進出による競争の激化	0
小売業の進出による競争の激化	3
新規参入業者の増加	0
店舗・倉庫の狭隘・老朽化	2
商品在庫の過剰	6
人件費の増加	0
人件費以外の経費の増加	0
販売単価の低下・上昇難	14
仕入単価の上昇	2
金利負担の増加	0
代金回収の悪化	2
事業資金の借入難	0
従業員の確保難	0
需要の停滞	25
その他	0
合 計	57

※ 1位 … … 3ポイント
 2位 … … 2ポイント
 3位 … … 1ポイント

『直面している経営上の問題点』の集計表

小売業

内 容	ポイント
大型店・中型店の進出による競争の激化	9
同業者の進出	2
購買力の他地域への流出	9
消費者ニーズの変化への対応	4
店舗の狭隘・老朽化	1
駐車場の確保難	0
商品在庫の過剰	0
人件費の増加	0
人件費以外の経費の増加	2
販売単価の低下・上昇難	7
仕入単価の上昇	0
金利負担の増加	2
代金回収の悪化	0
事業資金の借入難	3
従業員の確保難	3
需要の停滞	11
その他	0
合 計	53

サービス業

内 容	ポイント
大企業の進出による競争の激化	3
新規参入業者の増加	1
利用者ニーズの変化への対応	8
店舗施設の狭隘・老朽化	8
人件費の増加	4
人件費以外の経費の増加	5
利用料金の低下・上昇難	7
材料等仕入単価の上昇	3
金利負担の増加	0
事業資金の借入難	3
従業員の確保難	2
熟練技術者の確保難	0
需要の停滞	5
その他	0
合 計	49

※ 1位 … … 3ポイント
 2位 … … 2ポイント
 3位 … … 1ポイント

景況 DI (全業種) - 前年同期比 -

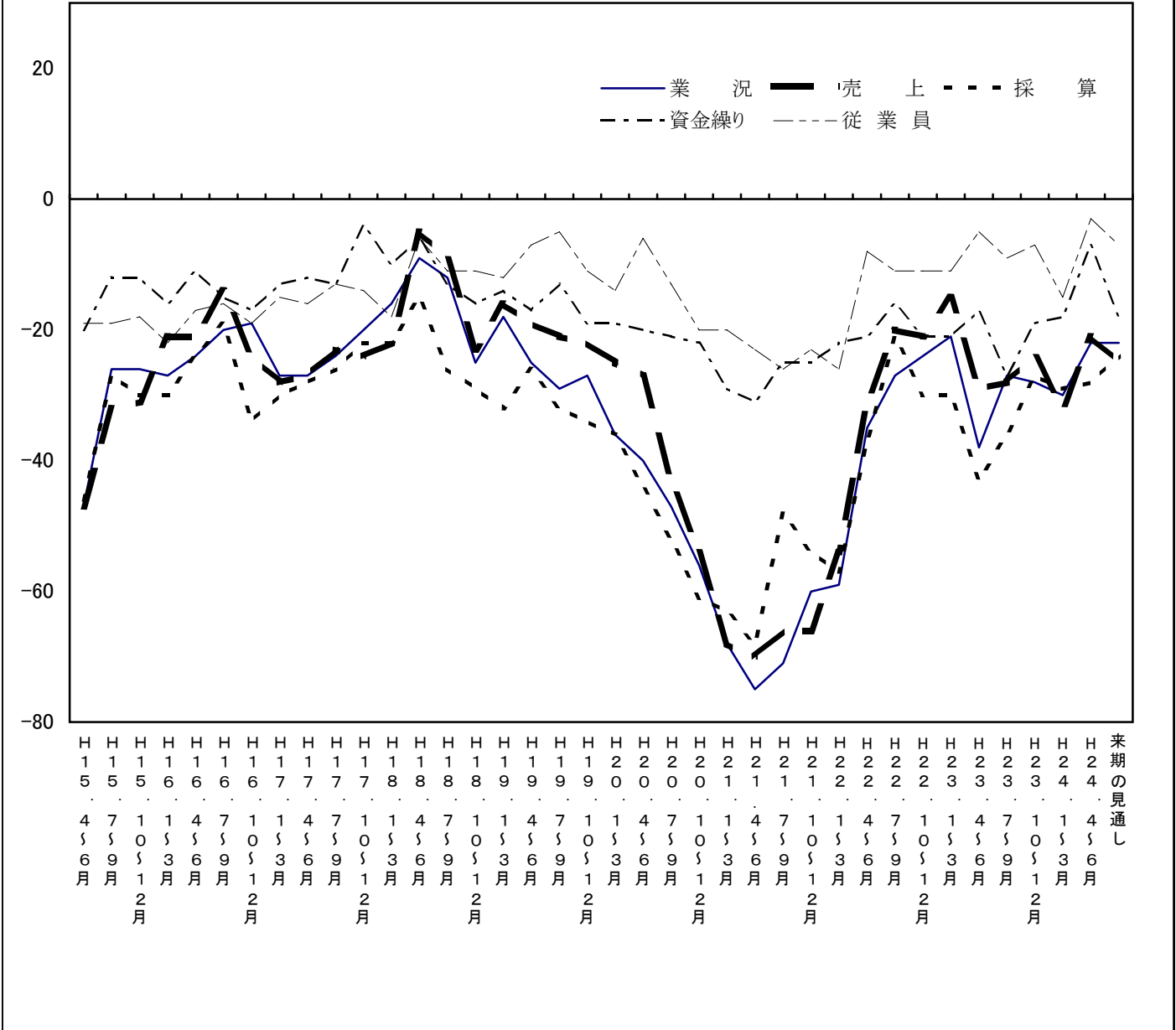


図 2

業 況 DI - 前年同期比 -

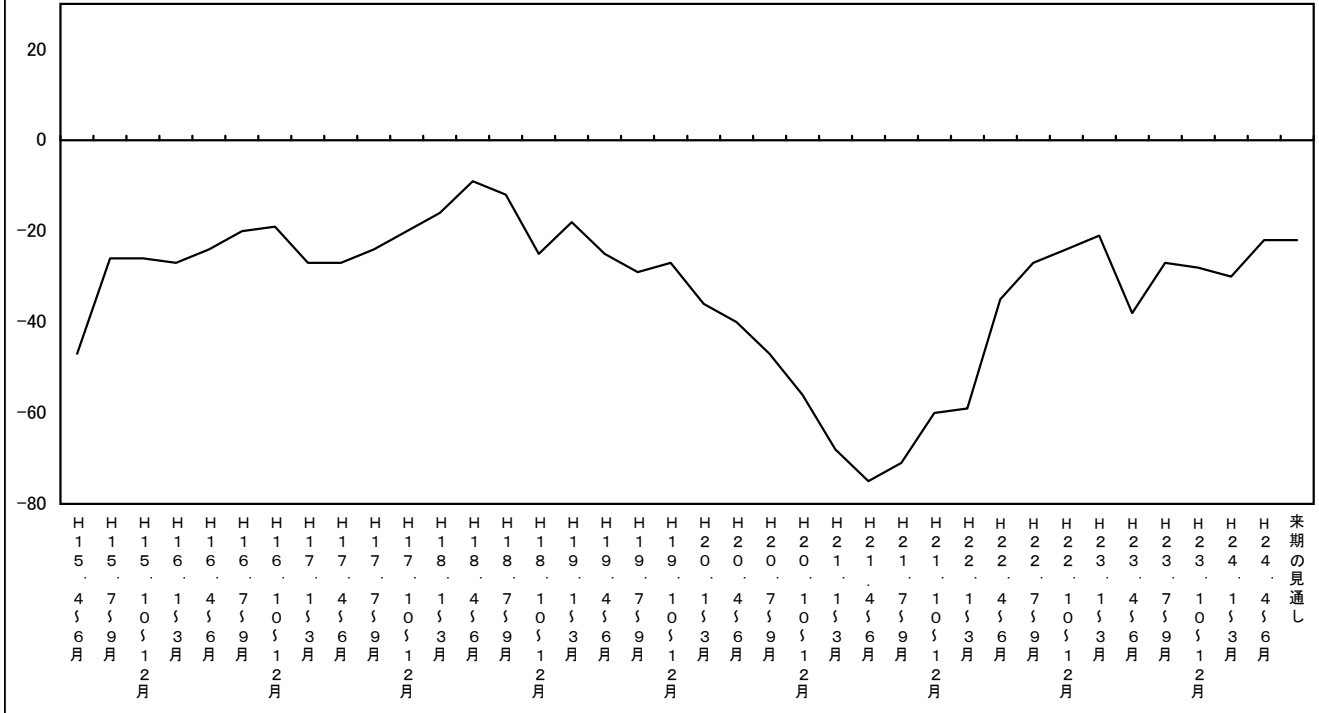


図 3

売 上 DI - 前年同期比 -

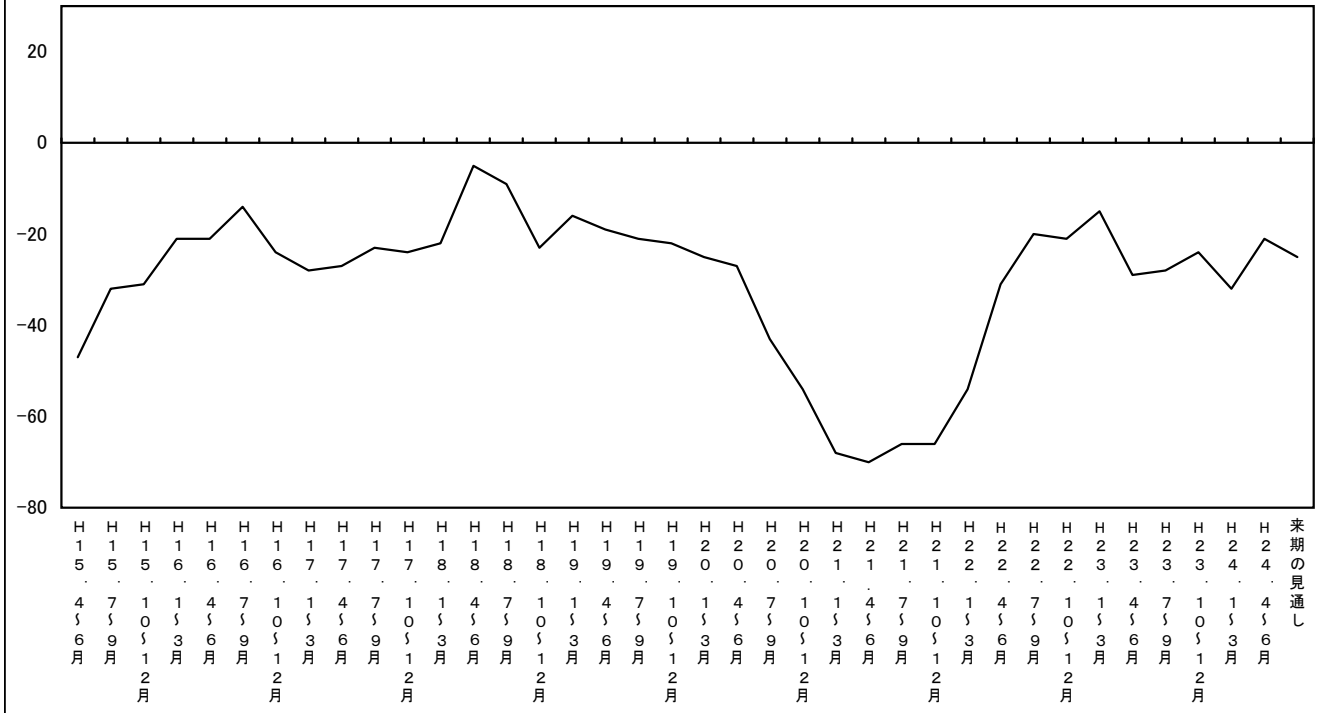
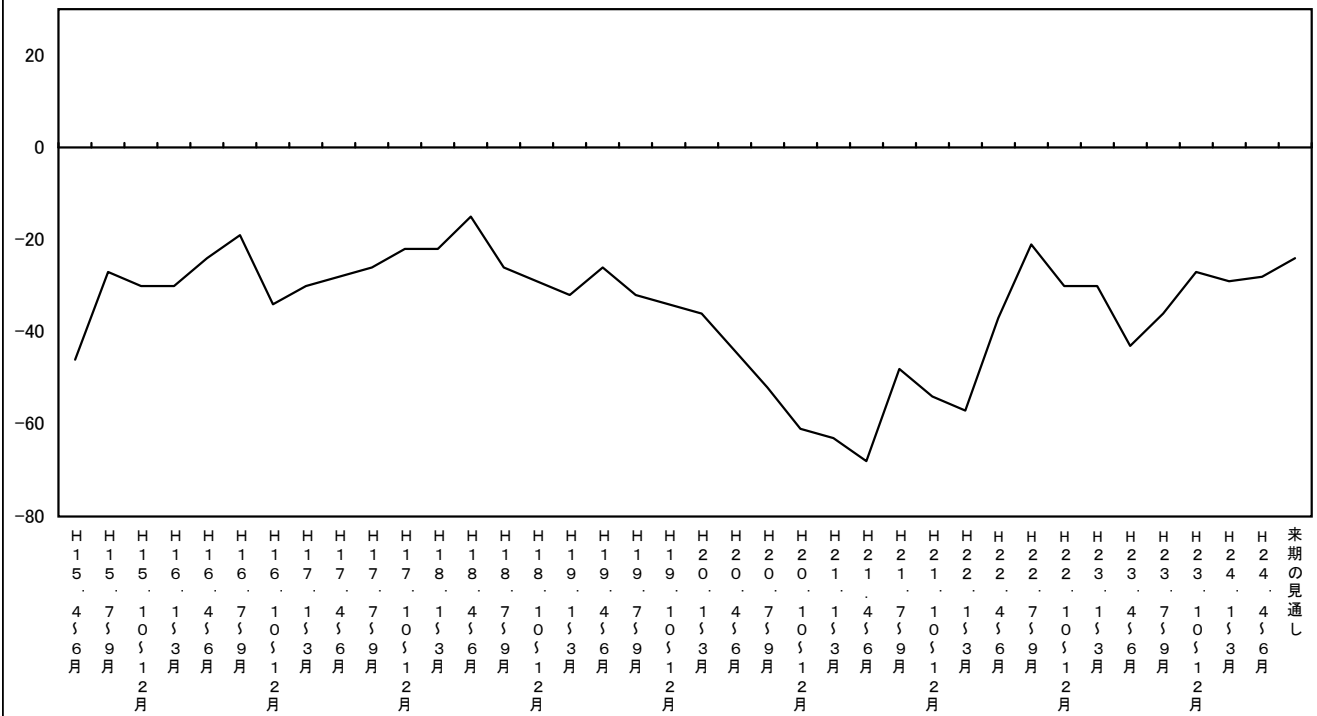


図 4

採 算 DI - 前年同期比 -





一 宮 商 工 会 議 所
中 小 企 業 相 談 所

一宮市栄四丁目2番1号 (〒491-8686)

T E L (0586) 72-4611

F A X (0586) 72-4411

U R L <http://www.ichinomiya-cci.or.jp>

E-mail soudan@ichinomiya-cci.or.jp